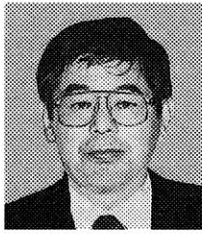


第一部

個性派製品・サービス



小松 社長

高速シートシャッター、集落排水計測・制御・監視システムの製造、販売を主力とする小松電機産業の本拠地は島根県松江市東南部の八雲村にある。同社は佐藤造機（現三菱農機）に勤務していた小松昭夫社長が佐藤造機の会社更正法適用を機に退社、一九七三年に小松産業を創業して機械修理を始めたのが前身。同社が大きく躍進したのは自動開閉式高速シートシャッター「門番」の販売に乗り出した八六年以降。さらに、

元祖 社会変革 変身企業

□ 8 □

（小松社長）と意欲をみせる。「門番」とともに「今後の主力製品に育てる」として「シートシャッター」というマーケットがなかっただけに、軌道に乗せるまでには相当苦労した。同社には相当苦労したが、「製品には自信があったし、

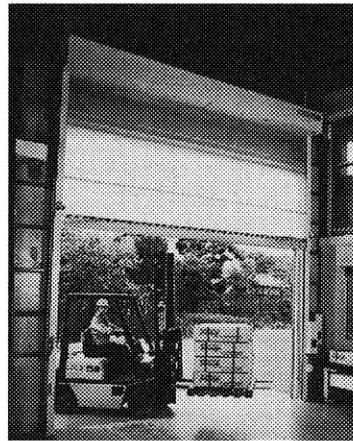
製品は市場創造型 社会変革業も願いたい

大手のシャッターメーカー、文化シヤッターとの間で技術・販売提携を結んだことで、信用を一段と高め、つれて「門番」の販売を開始した当時は、

「門番」は、これまでに三万台強の販売実績を持っているが「九四年は販売、施工、メンテナンス面の再構築を

△会社概要▽社長 小松昭夫氏▽本社 島根県八雲郡八雲村東岩坂180、☎0852・54・1166▽事業内容 高速シートシャッター、集落排水計測・制御・監視システム、配電盤・自動制御盤・計装システムの製造販売など▽売上高 三十五億円▽資本金 一億円▽従業員 八十一名▽設立 一九七三年二月

市場創造型商品の第1号としてお目見えした高速シートシャッター「門番」



自分たちで新しいマーケットを築いていくという夢とロマンがあった。これが大きな励みだった。同社ではこの「門番」の経験を生かして拡販体制の整備を始めたのは、次期主力製品に期待をかける「やくも水神」。

「門番」にしても「やくも水神」にしても、これまではなかった、いわゆる市場創造型の製品。新たにマーケットを築いていかなければならない

苦労はあるが、これが生きがいでもあり、また、我々の生き残りの道でもある。同社と強調する。そして「企業は社会適応業でなければならぬ」として、同社が社会適応業でなければならぬと、適応していくためには社会変革業でなければならぬ。さらに、現状をよく

（水、金曜日掲載）